

平成 23 年 1 月 25 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 23 年 1 月 25 日 (火曜日)

午後 3 時 50 分から午後 5 時 15 分まで

2 場 所 新町小学校 会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 内藤 博子 委 員 羽賀 友信

委 員 中村 美和 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長 野口 正巳 教育総務課長 若月 和浩

学務課長 武樋 正隆 学校教育課長 小野田 信子

子ども家庭課長 矢沢 康子 保育課長 佐野 勉

中央公民館長 葦澤 豊 中央図書館長補佐 廣田 恭子

科学博物館長 山屋 茂人 教育センター所長 山岸 文夫

教育総務課特命主幹 安部 和則 学校教育課主幹兼管理指導主事 島倉 昭弘

学校教育課主幹兼管理指導主事 関谷 祐二 学校教育課主幹兼管理指導主事 山田 修

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 栗林 洋子 教育総務課庶務係長 新沢 達史

教育総務課庶務係 平澤 司 教育総
務課庶務係 吉田 友香里

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2		議席の指定
3	第1号	平成23年度全国学力・学習状況調査への参加について
4	第2号	長岡市青少年文化センター条例施行規則の一部改正について
5	第3号	補正予算の要求について
6	第4号	専決処理について（補正予算の要求について）
7	第5号	専決処理について（長岡市立科学博物館名誉館長設置要綱の制定について）

7 会議の経過

（大橋委員長） これより教育委員会1月定例会を開会する。

日程第1 会議録署名委員について

（大橋委員長） 日程第1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第44条第2項の規定により、羽賀委員及び中村委員を指名する。

日程第2 議席の指定

（大橋委員長） 日程第2 議席の指定を行う。先月の定例会において、私が委員長に選任され、この1月5日から新たな任期が始まったため、改めて議席の指定を行う。議席の指定については、会議規則第7条の規定に基づき、委員長が指定することになっているため、ただいまの着席のとおり指定する。

日程第3 議案第1号 平成23年度全国学力・学習状況調査への参加について

(大橋委員長) 日程第3 議案第1号 平成23年度全国学力・学習状況調査への参加について を議題とする。事務局の説明を求める。

(小野田学校教育課長) 「平成23年度全国学力・学習状況調査に関する実施要綱」の抜粋を基にして概要を説明する。基本的には、今年度の実施内容と変更はない。調査の目的は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、課題の改善を図ること、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることである。調査事項について説明する。まず、児童生徒に対する調査である。教科に関する調査は、小学校が国語と算数、中学校が国語と数学である。その出題内容は、主に「知識」と「活用」に関する問題である。また、生活習慣や学習環境等に関する調査は、学習意欲、学習方法、学習環境等についての調査である。次に、学校に対する質問調査であるが、指導方法に関する取組みや人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査である。調査の方式は2つある。1つ目は、文部科学省が全国から抽出した学校の全児童生徒を対象として抽出調査を行う方式、2つ目は、抽出調査以外の学校が、学校設置者の希望により、抽出調査と同一の問題の提供を受けて調査をすることができる希望利用方式である。調査は平成23年4月19日に実施する。文部科学省の実施要綱を踏まえ、長岡市としては、文部科学省が調査対象として抽出した学校について調査を行うこととし、希望利用については、市として希望することとする。なお、希望利用の参加の有無は、当該各学校の裁量によるものとする。抽出調査への参加の理由としては、調査の目的が昨年度と同様であり、これまでも調査に参加してきたこと。児童生徒への指導の改善に役立つこと。統計上信頼できるデータを得るため、国の調査に協力すること。この3点が挙げられる。希望利用を希望する理由としては、調査の質がよく、指導の改善に大変役立つためである。希望利用への参加を学校の裁量とした理由は、標準学力調査結果を基にした指導の改善や、新潟県の学力向上推進システム活用事業の利用等について、学校ごとに取組みについて決定しているため、同様の方針とするものである。なお、文部科学省が抽出したのは、小学校が12校、中学校が14校である。小学校と中学校を合計した抽出率は29.8%であり、全国及び県の抽出率よりも低くなっている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 希望利用の場合は、採点等の事務を誰が行うのか。

(小野田学校教育課長) 各学校で行う。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

日程第4 議案第2号 長岡市青少年文化センター条例施行規則の一部改正について

(大橋委員長) 日程第4 議案第2号 長岡市青少年文化センター条例施行規則の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 長岡市青少年文化センターの温水プールの廃止について、12月の本会議において条例改正が正式に決定した。これを受け、長岡市青少年文化センター条例施行規則の一部改正を行うものである。具体的には、規則や様式の内、温水プールに関するものを削除する。温水プールは平成23年3月31日まで営業する。なお、3月21日、26日に無料開放を行う。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

日程第5 議案第3号 補正予算の要求について

(大橋委員長) 日程第5 議案第3号 補正予算の要求について を議題とする。

事務局の説明を求める。

(若月教育総務課長) まず、私から総括的な説明を行う。今回の補正予算は昨年10月に閣議決定され、11月の国会で議決された「地域活性化交付金」の1つである、「住民生活に光をそそぐ交付金」の活用である。この交付金は、これまで住民生活にとって大事な分野でありながら、光が十分に当てられてこなかった分野、例えば、地方消費者行政等の事業を行うために交付される。既に長岡市全体で約8,800万円の内示があった。教育委員会の所管事業の中で、該当する分野について市長へ要求したいと思う。要求後は財政当局で査定があり、来月、臨時会で審議される予定である。よって、これからお話しする内容は要求段階のものである。なお、国の方で学校の大規模改造耐震補強について2次補正があり、内示があった。それも含めて2月の臨時会へ提出する予定であるため、併せて説明する。それでは順次説明する。

(若月教育総務課長) 【議案書により説明】

(安部教育総務課特命主幹) 【議案書により説明】

(武樋学務課長) 【議案書により説明】

(小野田学校教育課長) 【議案書により説明】

(矢沢子ども家庭課長) 【議案書により説明】

(佐野保育課長) 【議案書により説明】

(廣田中央図書館長補佐) 【議案書により説明】

(山屋科学博物館長) 【議案書により説明】

(山岸教育センター所長) 【議案書により説明】

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 再度確認するが、教育委員会として要求したものについて、財政課の査定があるということか。

(若月教育総務課長) そうである。なお、学校の大規模改造耐震補強については、国の内示が出ているため、そのままの額で決定すると思う。

(加藤教育長) いくつかの課で検査器具の購入を予定しているが、まとめて購入することで安くできるのではないか。

(佐野保育課長) 内容によっては可能であると思う。

(羽賀委員) 馬高・三十稲場遺跡管理運営費を予算要求しているが、施設の利用状況はどうなっているか。

(山屋科学博物館長) 昨年の9月19日に開館してから、約12,000人が利用している。

(羽賀委員) 冬季間でも利用はあるのか。

(山屋科学博物館長) 冬季間は学校利用がほとんどないため、利用者は大変少ない。

(羽賀委員) 施設のことを知らない人もいるため、広報活動に努めてほしい。

(山屋科学博物館長) 今以上の広報に努めたいと思う。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議はないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

日程第6 議案第4号 専決処理について(補正予算の要求について)

(大橋委員長) 日程第6 議案第4号 専決処理について(補正予算の要求について) を議題とする。事務局の説明を求める。

(若月教育総務課長) 議案第3号で説明した「地域活性化交付金」の残りの1つ、「きめ細かな交付金」に係る補正予算の要求である。この交付金については、昨年12月に長岡市全体の額が決定している。財政当局としては、早い段階から地域の活性化に資するため、12月議会に諮りたいという考えであったため、専決処分としたものである。それでは順次説明する。

(安部教育総務課特命主幹) 【議案書により説明】

(矢沢子ども家庭課長) 【議案書により説明】

(佐野保育課長) 【議案書により説明】

(葦澤中央公民館長) 【議案書により説明】

(廣田中央図書館長補佐) 【議案書により説明】

(山屋科学博物館長) 【議案書により説明】

(山岸教育センター所長) 【議案書により説明】

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 子宮頸がん等ワクチン接種事業では、対象者や保護者への説明を行うのか。

(矢沢子ども家庭課長) 学務課と健康課と協議を行い、各学校への指導等を徹底することになっている。

(武樋学務課長) 先日、中学校の養護教諭を集めて勉強会を実施した。また、健康課が、保護者向けの講演会を2月に2回実施する予定である。実施にあたり、健康課が該当者に受診券を郵送する。該当者はワクチン接種可能な医療機関に自ら出向いて接種することになる。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり承認することに異議はないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり承認した。

日程第7 議案第5号 専決処理について(長岡市立科学博物館名誉館長設置要綱の制定について)

(大橋委員長) 日程第7 議案第5号 専決処理について(長岡市立科学博物館名誉館長設置要綱の制定について) を議題とする。事務局の説明を求める。

(山屋科学博物館長) 1月1日付けで、旧長岡藩牧野家17代当主の牧野忠昌様より、科学博物館初代名誉館長に御就任いただいた。辞令の交付を12月28日に行うために、専決処分として、12月27日付けで長岡市立科学博物館名誉館長設置要綱を施行した。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり承認することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり承認した。

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告に入る。まず、12月議会における教育委員会関係の質問事項について、事務局から説明を求める。

(野口教育部長) 12月議会は12月7日から12月20日まで開催され、一般質問は12月7日から12月9日までの日程で行われた。一般質問では、3名の議員より質問があった。諸橋虎雄議員からは「小中学校のエアコン設置について」、笠井則雄議員からは「子どもの医療費助成事業の拡大について」、桑原望議員からは「児童養護施設について」ということで本日訪問した双葉寮に関して、それぞれ質問があった。また、文教福祉委員会は12月13日に行われた。佐藤委員からは「アオーレ長岡が完成したら、学校関係でどのように活用を考えているか。」「学校・子どもかがやき塾について」、加藤尚登委員からは「長岡市の学校教育の方針について」「学校給食について」「伝統芸能の育成支援について」、大平委員からは「こどもすこやか応援事業と就学支援事業について」、細井委員からは「就学援助費の費目追加について」、永井委員からは「学校図書館の図書について」「公立の図書館及び博物館、資料館の利用料について」、長谷川一夫委員からは「学校給食費等の滞納状況について」「学校のいじめ問題について」「図書の貸出状況について」、小熊委員からは「学校緊急情報配信システム検討事業の検証結果について」「育児の家庭化について」、小坂井委員からは「学校施設の木材利用促進について」、それぞれ質問があった。12月議会の一般質問並びに委員会の所管に関する質問について、以上のとおりである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。次に宮内中学校校舎等増改築工事入札状況について、事務局の説明を求める。

(安部教育総務課特命主幹) 宮内中学校校舎等増改築工事はA工区とB工区に分かれているが、A工区工事の契約金額を増額する変更契約を行った。変更の理由は、地盤改良杭工事において、設計で想定していた支持層深度より深く打つ必要が生じたため、杭施工の長さを変更する必要があるためである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。次にヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの無料接種について、事務局の説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 3月1日から接種を開始する。周知のために医療機関や子育て支援センターにポスターを掲示する予定である。これらのワクチンは小児の細菌性髄膜炎などの発症や重症化を防止するためのものである。国の経済対策の一環として、都道府県に基金を設けて行うものであり、実施にあたり、基金から費用の半分が補助されることになっている。平成23年3月の1か月間は無料で実施し、平成23年4月以降は予算の状況に応じて実施を決定するものである。県内のほぼ全ての市町村で実施される予定である。なお、新潟市は1月から実施している。副作用が全くないと保証するものではないため、あくまで任意の接種である。保護者が適切な判断の基に接種してもらうものである。1回目の接種開始年齢により接種回数が異なる。通常、ヒブワクチンは9,000円、小児用肺炎球菌ワクチンは11,000円から12,000円の費用がかかる。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(中村委員) 周知はどのように行うのか。

(矢沢子ども家庭課長) 市政だより、ホームページ、ポスターなどによる周知や、他の検診受診時に周知している。

(大橋委員長) その他質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に平成22年度第2回長岡市栃尾美術館協議会報告について、事務局の説明を求める。

(廣田中央図書館長補佐) 平成22年度第2回長岡市栃尾美術館協議会は平成22年11月16日に栃尾美術館で開催した。出席者は委員6名、栃尾美術館職員7名の

計 13 名である。会議では平成 22 年度の 4 月から 10 月末までに実施した事業について報告があった。協議事項として、「平成 23 年度事業計画(案)」「美術館の現状と集客の増員」について意見をいただいた。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。他に協議報告はないか。

(武樋学務課長) 学校のインフルエンザ発生状況等について報告する。1 年前は新型インフルエンザが大流行し、ほぼ全ての学校が学級閉鎖等、何かしらの対応を行った。今年度は落ち着いており、例年流行する季節性インフルエンザの発生状況と同様の状況である。1 月 24 日現在、インフルエンザの発生に対する措置を執った学校は 5 校である。脇野町小学校、阪之上小学校、北辰中学校の 3 校は 3 日間の学級閉鎖を行い、柿小学校、新組小学校の 2 校は本日から 3 日間の学年閉鎖を行う。なお、明日から 3 日間、養護学校高等部 2 年生と川口小学校 6 年生が学年閉鎖を行う予定である。また、新型インフルエンザが弱毒性であることが判明したため、今年度は措置基準を緩和している。昨年度は学級閉鎖の基準を欠席率 10%としていたが、今年度から欠席率 10%かつ罹患率 30%を目安とし、20 人以下の少人数学級は欠席者 3 人を目安とした。また、休業期間も最短 4 日間を 3 日間に短縮した。

(佐野保育課長) 保育園のインフルエンザ発生状況等について報告する。保育園の措置基準は学校に準じた取扱いとしている。今年度は 9 月に公立中沢保育園、1 月に私立太陽ゆうゆう保育園と私立蔵王保育園が、インフルエンザにより、3 日間の登園自粛を行った。今年度は罹患している園児が 1 人、2 人であり、昨年度よりもかなり少ない。状況は落ち着いている。

(大橋委員長) 他に協議報告はないか。これをもって協議報告事項を終了する。

(大橋委員長) 本日は、定例会の前に双葉寮、北中学校並びに新町小学校を訪問した。委員の皆さんの意見、感想はいかがか。

(中村委員) 双葉寮は男子が多かった。子どもの部屋は一般的な家庭とは少し違うようだったが、職員の方が一生懸命に子どもと接している様子が伺えた。北中学校

は校舎が広く、整然としていた。生徒は落ち着いて授業を受けていた。双葉寮との連携がとれているようであった。新町小学校は特別支援学級と普通学級との繋がりがあり、問題ないようである。先生が学校の雰囲気づくりをしていて大変良いと思う。

(内藤委員) 双葉寮は高校生が弁当を作っていた。将来のために大変良いことだと思う。双葉寮に入寮するまで笑うことがなかった子が、笑うようになったと聞いて嬉しかった。北中学校は落ち着いた雰囲気だった。新町小学校の特別支援学級は、先生の地道な指導のおかげで良い状態であると感じた。3施設とも、子どもが怪我をしないように配慮されている。

(羽賀委員) 3施設ともきめ細かな対応がなされている。新町小学校は伝統的な教育が行われている。新聞を活用した教育を行っており、良い取り組みであると思う。他の学校のモデルとなるようがんばってもらいたい。

(大橋委員長) 双葉寮は地域やボランティアの協力が多く、暖かい印象を受けた。北中学校と新町小学校は一体感があり、双葉寮との連携もとれている。

(加藤教育長) 市内の学校に勤務している教職員の中に、双葉寮を訪れたことがない、又は、存在さえ知らない教職員がいると思う。このことは今後の課題である。北中学校と新町小学校は、介助員の配置など、市教育委員会としてできる支援を今後も続けていきたい。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員